

科目名：保育内容演習 言葉		講義・演習	担当教員名：倉持 ころ
			実務経験：無
1 年次 後 期	1 単位		選択必修 / 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の特性をふまえた保育内容的、方法的特質を理解する。 ・保育所保育指針領域「言葉」のねらいと内容を理解する。 ・乳幼児期の言語的発達を理解する。 ・保育内容「言葉」の援助と実践力を身につける。 ・児童文化財を活用するための専門知識を獲得する。 			
<p>授業の概要</p> <p>保育所保育指針の領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達をふまえ、保育における子どもの言葉によるコミュニケーション、絵本などの文化財とのかかわり等の具体的な言葉への関わり方を学ぶ。具体的には、視聴覚教材を中心に、以下の内容について講義形式で行う。各授業中に、15分程度のロールプレイを行う。</p>			
授業計画			
1	保育・幼児教育の特質、保育所保育指針における5領域		
2	領域「言葉」の歴史の変遷		
3	領域「言葉」のねらい、内容、内容の取り扱い		
4	乳幼児期の言語発達の筋道① 乳児期言語発達とコミュニケーション		
5	乳幼児期の言語発達の筋道② 幼児期言語発達とコミュニケーション		
6	子どもの気持ちの理解と信頼関係の形成		
7	自分の気持ちや考えを表現すること		
8	他者の言葉を、親しみをもって注意して聞くこと		
9	生活に必要な言葉を使う（挨拶・自己紹介）こと		
10	遊びのなかで言葉による表現をすること		
11	言葉による伝え合いをすること		
12	日常生活のなかで文字に親しみ関心を持つこと		
13	児童文化財について		
14	国際理解と外国語・幼小保の連携		
15	授業まとめ（試験）		
テキスト ・新 保育ライブラリー 保育内容 言葉 北大路書房			
参考書等：各講義において、適切な論文を使用する。			
評価の方法			
(1) 授業態度：15% (2) レポートや課題：15% (3) 試験：70%			